

# 豆田町並み通信

第56号

発行者  
豆田町伝  
建保存会  
26年9月

## 第十回を記念して 千年あかり特別企画を！

八月二十八日(木)第二回実行委員会が開催され、十周年記念事業として九月二十八日に高校生を主体に「千年あかりと河川整備」をテーマにしたシンポジウムを開催する事、竹の加工・和紙貼り等の作業が十一月末まで旧産業工芸試験場で出来る事、九月七日と九月二十一日の二回に分けて竹伐採作業を行う事、などが報告協議されました。

河川敷の竹灯籠やオブジェの設置については、十周年に相応しいものを考えて行く事になりました。



十周年記念事業について協議した  
実行委員会

又、九月七日(日)には北友田の竹林の伐採作業を行いました。

この伐採にはサッポロビール・いいちこ・日田バス、更には九電日田営業所やその関連会社二社の企業ボランティアと地元実行委員の七十名が参加して、約三百本の竹を伐採しました。

またこの伐採には、シンポジウムに参加する高校生十名も参加し、肌で竹伐採作業を経験しました。

実行委員会では九月二十一日にも、第二回目の伐採作業を行なうとの事です。参加希望者は☎0011942049 園田まで



北友田青果市場裏の竹伐採現場にて、作業の手順を聞く参加者

## 平成二十六年年度 第一回 日田市町並み保存審議会開催

八月十八日(月)、市役所にて本年度の第一回の「日田市町並み保存審議会」が開催されました。

審議会では、新しい委員の委嘱が行なわれ(任期は平成二十八年五月三十一日まで)、その後委員の互選により、審議会会長に波多野平氏(豆田町伝建保存会副会長)、副会長に橋本成人氏(豆田地区振興協議会会長)を選任して議事が進められました。

議事の中では修理の優先順位決定方法の見直し案が審議され、従来五段階判定になっていたものを三段階に変更する事。建物の現状調査を公平に行なう為、市職員のみで行なう事。審議会で次年度修理物件が確定した後に全修理希望者に結果を報告する案等が承認されました。



審議会では、審議会の公開や「歴史交流館」の供用開始なども話し合われた

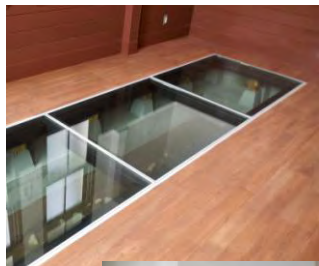
## 豆田まちづくり 歴史交流館完成！

平成二十四年度から行なっていた旧古賀医院診療所棟(歴史交流館)の修理工事が本年七月末に完了しました。

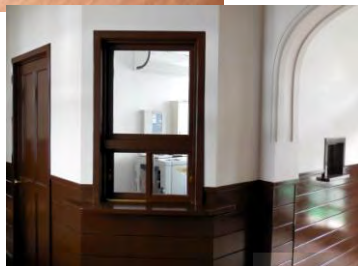
この間、平成二十四年九月には元あった場所に曳き移転工事を行い、昔の写真や当時働いていた方からの聞き取りを元に復元修理工事を進めてきました。

今後この建物は、まちづくりや情報発信の拠点施設として活用される事になっています。なお、十月二日より供用開始、十月五日(日)には開館記念式典を行ないます。

江戸時代の建物の礎石が見られる展示室



昔の受付窓口を復原



## 豆田まちづくり歴史交流館 開館記念式典のお知らせ！

期日 平成二十六年十月五日(日)  
午前十時より・記念式典  
午前十時三〇分より・もちまき  
式典開催時は交通規制があります。

# 天領まつり説明会開催!

九月四日(木曜)市役所にて天領まつりに関する説明会が開催され、豆田地区振興協議会の自治会長が参加しました。市観光課より実施されるイベントや交通規制の在り様が説明されました。

特に屋台の出店にあたって京都福知山の事故を受けて、火気器具を使用する場合は消火器の設置を徹底する様要請がありました。

自治会長からは、祭りイベントの周知徹底を図るため、豆田上町に案内所を設置する様、要望がありました。

又、同席した千年あかり実行委員会の財津委員長から「本年が十周年になる事から、記念イベントを企画しており、自治会の皆さんに一層の協力をお願いしたい」旨の協力要請がありました。



天領まつりに関する説明会に参加し協議を行う自治会長の皆さん

# 無病息災願ってえん魔様まつり!

恒例の「えん魔様まつり」が八月十六日(土)丸の内の大超寺で行なわれました。この日は土曜日とあつて帰省客や地域の方が多数参拝しました。

本堂では首藤泰爾住職が打ち鳴らす鉦に合わせて「百万偏大数珠」の供養行事が行われ、子供専用の数珠玉には多くの子供たちが車座になり、先祖供養と無病息災を祈っていました。

境内では檀家有志の「明照会」が主催する金魚すくいなどの屋台が並び、子供の歓声が響いていました。



住職の鉦に合わせて、子供たちも数珠玉を上下させてお念仏



金魚すくいやボールすくいに興じる子供たち

# 伝建地区選定をめざして! 杵築市より視察

八月二十八日、日田と同じく、豊後路の小京都と言われる杵築市より、杵築城の西側に位置する武家屋敷地区や商人地区を国の重要伝統的建造物群保存地区に選定しようと、豆田地区に視察に訪れました。

一行は地区の区長や建築士、市の職員十一名で、豆田町伝建保存会の木下副会長が、伝建選定に至るまでの経過、保存会の活動内容などについて説明を行なっていました。

区長さんからは、伝建地区になる時に住民の反対は無かったのか、伝建地区のメリットは何かなどの質問が出されました。

木下副会長は大分県では伝建地区は日田市しかないのです、選定される様頑張ってくださいとエールを送っていました。



豆田のまちづくりや現状やについての説明に聞き入る視察参加者

# 二六年祇園祭り点描



御幸橋に勢ぞろいした豆田地区の山鉾



中城お旅所の四基の山鉾(上) 今年の口上を言う港町の塩月筆頭押え(下)



上町新山鉾の入魂式